

# 10年耐久不燃膜材



# ターポロン® G-3500

国土交通大臣認定品

不燃材料認定番号 NM-5519

指定建築膜材料認定番号 MEM-0006

(公財)日本防災協会認定品

防災製品番号 F-15124

材質 基布：グラスファイバー100%

樹脂：ポリ塩化ビニル (PVC)

仕様 防汚処理：フッ素系表面処理

厚さ：0.53mm

規格：103cm×50m (乱)

203cm×50m (乱)

用途 中・大型膜構造物



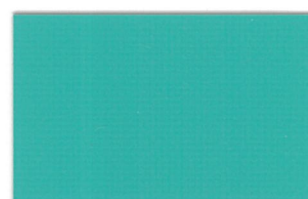
T-17 アイボリー  
[透光率:3.5%]

←2M→

\*203cm巾品の在庫は、  
アイボリーのみとなります。



T-18 ホワイト  
[透光率:4.9%]



T-04 エメラルドグリーン  
[透光率:0.2%]



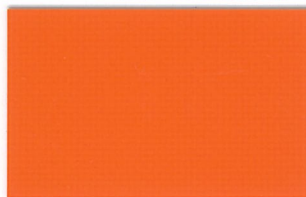
T-07 グリーン  
[透光率:0.1%]



T-09 フォレストグリーン  
[透光率:0.2%]



T-11 イエロー  
[透光率:5.9%]



T-12 オレンジ  
[透光率:2.4%]



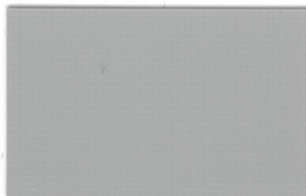
T-13 レッド  
[透光率:0.7%]



T-01 ロイヤルブルー  
[透光率:0.0%]



T-22 ホワイトシルバー  
[透光率:0.0%]



T-19 グレー  
[透光率:0.4%]



T-51 ライトブラウン  
[透光率:0.1%]



T-20 ブラック  
[透光率:0.0%]

\*別注色はロット2000mより承ります。

\*透光率の表示0.0%は0.04%以下の数値を示すものであり、  
完全遮光を意味するものではありません。



## 物性データ

品番	幅 (cm)	長さ (m)	厚さ (mm)	質量 (g/m)	引張強さ (N/3cm)		伸び率 (%)		引裂強さ (N)		耐水度 (mm)	吸水長 (mm)	
					タテ	ヨコ	タテ	ヨコ	タテ	ヨコ		タテ	ヨコ
ターポロン® G3500	103 203	50 50(注)	0.53	840	3580	3480	4.5	7.5	182	176	2000以上	20以下	20以下
試験方法	JIS L 1096				JIS L 1096 A法 (ストリップ法)			JIS L 1096 C法 (トラペゾイド法)		JIS L 1092 A法 (低水圧法)	パイロットインク 3%水溶液に 72時間浸漬		

※上記物性データは JIS の定める測定法及び当社法に基づいた測定値であり、保証値ではありません。

(注)203cm 巾品の在庫は、アイボリーのみとなります。

設計基準強度	タテ糸方向の基準強度 776 N/cm
	ヨコ糸方向の基準強度 870 N/cm

(設計基準強度：国土交通大臣の指定する膜材料に係る許容応力などの基準強度)

※耐久年数は保証年数ではありません。当社は膜材料、テント倉庫用膜材料の材料保証を行っております。  
詳しくは当社までご相談ください。

※10年後の引張強度保持率は設計基準強度の70%以上を保証します。



マンセル値はこちら

## 国土交通大臣認定について

- 不燃材料認定番号…建築基準法第68条の25第1項(同法第88条第1項において準用する場合を含む)の規定に基づき、同法第2条第九号及び同法施行令第108条の2(不燃材料)の規定に適合する構造方法又は建築材料であり、国土交通大臣の認定を受けたものに付される登録番号。
- 指定建築材料認定番号…建築基準法第68条の25第1項(同法第88条第1項において準用する場合を含む)の規定に基づき、建築基準法第37条第二号の規定に適合する構造方法又は建築材料であり、国土交通大臣の認定を受けたものに付される登録番号。法改正により認定取得時の条項とは異なります。

## 注意事項

1. 本カタログに記載している製品は日本国内向けです。
2. 使用前に必ず品名・品番・色相・ロットNo.・規格をご確認ください。
3. 保管は、高温・多湿を避け、冷暗で平坦な場所に置き、変形するような積み方はしないでください。
4. 長期間保管されていた製品は、使用前に物性低下の有無をご確認ください。
5. 極低温・極高温向けには設計されておりませんので、そのような用途に使用する場合は必ず弊社までご相談ください。
6. 熱融着による接合の際は、臭気が発生することがありますので、必ず作業場を換気してください。
7. 高周波ウエルダーで溶着する際は溶着部分に導電性を有する物質が付着していると、まれにスパークを起こすことがありますので、ウエルダーバー及び膜材の溶着部分に付着物の無い状態で溶着してください。
8. 膜材が鉄骨等と直接接触する部分には必ず補強(当て布等)をしてください。
9. 印刷する場合は、印刷性を事前にご確認ください。
10. 洗浄する場合は、中性洗剤を浸した柔らかいスポンジ等で拭き取り、十分に水洗いし乾燥してからご使用ください。
11. サンプルの色相は、出荷時の現物の色相と若干違いのある場合があります。予めご了承ください。
12. 透光差がありますので、同一縫製品には、同一ロットNo.の使用をお勧めします。
13. 透光率はJIS Z 8722試験方法にて測定した数値です。  
表示の0.0%は0.04%以下の数値を示すものであり、完全遮光を意味するものではありません。
14. 紫外線とは300nm~380nmの放射をさし、JIS A 5759に基づいてUVカット率を算出しています。  
UVカット率95%以上を対象にマークを掲載しております。
15. 廃棄される際は、下記の方法で処理してください。  
(1) 廃棄物処理法、都道府県条例等に従ってください。  
(2) 許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。
16. ゴム(配線材等)との接触により膜材が変色する場合がありますので、直接接触しないようご注意ください。
17. 質問、問い合わせ、より詳しい資料が必要でしたら、取扱店または弊社までご連絡ください。
18. 本カタログの記載内容は改善のため事前の予告なしに変更することがあります。
19. RoHS2指令適合については2020年1月製造分より対応しております。
20. ガラス繊維は折り曲げに弱い性質があります。縫製時及び取付けの際は、折り曲げ等に十分ご注意ください。
21. 縫い込みロープ、ハトメ部分の縫製時には必ず補強布を内側に当ててご使用ください。
22. 膜材料には表・裏があります。性能が異なりますので、裏面が外側に出ないようにご注意ください。

